

- 問1 近畿地方の紀伊半島に位置し、2022年の統計においてミカンの収穫量割合が全国の22.4パーセントを占め、全国1位となっている都道府県を選びなさい。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
1. 和歌山県 2. 愛媛県 3. 静岡県 4. 熊本県
- 
- 問2 京都市の都市計画では、地区によって異なる高さ制限が設けられています。ある地区では近代的なビルが並ぶことを想定して三十一メートルまでの建築が認められていますが、伝統的な建築物が維持されている別の地区では、十二メートルまでという非常に厳しい制限が適用されています。このように地区ごとに異なる建設規制を設けている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 福岡県公立入試 類似)
1. 各地区の歴史的な背景や特性に応じた景観の保存と、都市機能の維持を両立させるため 2. 地価の上昇を抑えるために、すべての地区で建物の階数を制限するため 3. すべての地区を一律に観光地化し、新しい建物の建設を一切禁止するため 4. 高層マンションの需要に応えるために、歴史的な地区でも順次規制を緩和するため
- 
- 問3 京都市のように、伝統的な木造建築が立ち並ぶ地域において、建物の高さやデザインを制限することで、街全体の美しさや歴史的な雰囲気を守る取り組みを何と呼びますか。 (2023年 千葉県公立入試 類似)
1. 都市再開発 2. 景観の保全 3. インフラの整備 4. 土地の高度利用
- 
- 問4 近畿地方の滋賀県と奈良県について、1998年から2018年の20年間における人口動態を比較したとき、滋賀県に見られる特徴として最も適切なものはどれですか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. 20年前に比べて人口が増加しており、他県からの移住などの影響で40歳代の男女の割合が比較的高い。 2. 20年前と比べて人口は横ばいだが、15歳未満の年少人口の割合が近畿地方で最も高くなっている。 3. 2000年代前半をピークに人口が減少傾向にあり、高齢化の影響で70歳代の男女の割合が比較的高い。 4. 大阪市など近隣都市への人口流出が激しいため、20年前よりも大幅に人口が減少している。
- 
- 問5 兵庫県南部の瀬戸内海沿岸に見られる「瀬戸内式気候」では、年間を通じて降水量が比較的低く、温暖な気候となります。このような気候が形成される主な理由として、地形的な観点から説明したものとして適切なものはどれですか。 (2025年 兵庫県公立入試 類似)
1. 季節風が日本海から吹き込む際、中国山地を越えて冷たく乾燥した風が吹き下ろすため。 2. 北の中国山地と南の四国山地によって、夏・冬それぞれの季節風が遮られるため。 3. 南から流れる暖流の黒潮（日本海流）の影響により、一年中海面からの水蒸気が蒸発しやすいため。 4. 標高が高い内陸部が屏風のような役割を果たし、南東からの湿った季節風をすべて上昇気流に変えるため。
- 
- 問6 琵琶湖における赤潮の発生日数は、1970年代後半のピーク時と比較して、2000年代以降は数日程度にまで大幅に減少しました。この変化をもたらした主な社会的・制度的要因として最も適切なものはどれですか。 (2015年 長野県公立入試 類似)
1. 琵琶湖周辺における製造業の工場の全面撤退と、観光地化への転換 2. 琵琶湖の面積を拡大するための干拓事業の停止と自然保護区の指定 3. 高度経済成長期に建設された大規模ダムによる、湖水の流入量制限 4. 滋賀県内における下水道普及率の上昇や、環境配慮型農業の推進
- 
- 問7 滋賀県にある日本最大の湖である琵琶湖から唯一流れ出し、京都盆地や大阪平野を経て大阪湾へと至る一級河川があります。京阪神大都市圏の生活や産業を支える主要な水源としての役割を果たしているこの河川の名称を選びなさい。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
1. 淀川 2. 木曽川 3. 信濃川 4. 利根川
- 
- 問8 和歌山県などの近畿地方南部において、みかんの栽培が平地ではなく山地の斜面で盛んに行われている理由として、栽培に適した自然条件の観点から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2016年 愛知県公立入試 類似)
1. 平地に比べて気温の日較差が非常に大きく、冬の寒さを利用して果実を甘くできるから 2. 傾斜地は土壌の水分が蒸発しにくく、年間を通じて常に湿潤な環境を保つことができるから 3. 標高が高くなることで害虫の発生を抑え、農薬を使用せずに栽培することが可能になるから 4. 太陽の光が効率よく当たり、水はけが良いという果実の成長に適した条件が整っているから
- 
- 問9 滋賀県が「琵琶湖富栄養化防止条例」を制定し、家庭用合成洗剤に含まれる「りん」の使用や販売を禁止した取り組みについて、その意図を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 群馬県公立入試 類似)
1. 琵琶湖での外来魚の繁殖を抑制し、伝統的な漁法を保護するため 2. 名古屋を中心とする都市圏への送水量を増やし、工業発展を支援するため 3. 琵琶湖周辺での農業生産を拡大するために、化学肥料の使用を促進するため 4. 下流の都市圏へ供給する生活用水の安全と、琵琶湖の生態系を守るため
- 
- 問10 和歌山県の工業的特徴について、製造品出荷額の統計的な傾向から説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
1. 豊かな水資源や森林資源を活用したパルプ・紙工業や、地元農産物を加工する食品工業が工業の中心となっている。 2. 内陸部の交通網の発達により、電子部品・デバイスや精密機械などの小型で付加価値の高い製品の出荷額が上位を占めている。 3. 臨海部に石油コンビナートや製鉄所が立地しており、石油製品や鉄鋼、化学工業といった重化学工業の割合が極めて高い。 4. 古くからの伝統産業である繊維工業を中心に、現在は自動車などの輸送用機械の組み立て工場が県内全域に分散している。
- 
- 問11 京都市中心部の道路網は、道路が格子状に整然と張り巡らされた「碁盤の目」状の構造を持っています。このような都市構造が形成された歴史的な背景として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
1. 平安京の造営にあたり、中国の長安をモデルに、土地を管理しやすくするための「条坊制」が採用されたため。 2. 江戸時代の城下町形成において、商人が活動しやすいよう平坦な土地に商業区を集中させたため。 3. 明治時代の近代化政策において、路面電車の線路を敷設しやすい直線をも用いた区画整理が行われたため。 4. 自然発生的に形成された集落が、山に囲まれた盆地の地形に合わせて直線的な道路で結ばれたため。
- 
- 問12 日本の各地方の農業産出額を品目別に見ると、畜産が約26%、米が約23%、野菜が約22%、果実が約19%と、主要な4つの品目がそれぞれ20%前後でバランスよく生産されている統計があります。このような構成が特徴的な地方はどこですか。 (2024年 大分県公立入試 類似)
1. 北海道 2. 関東地方 3. 近畿地方 4. 九州地方
- 
- 問13 近畿地方から中国・四国地方にかけての気候を調査した資料において、年間を通じて温暖であり、かつ「年間降水量が他の地域に比べて著しく少なく、冬の降水量も穏やかである」という統計的な特徴を示す地点の名称として正しいものはどれですか。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
1. 瀬戸内の気候 2. 中央高地の気候 3. 太平洋側の気候 4. 日本海側の気候